

12月7日(木) 今日の市況予測

このところ急上昇していたBTCも流石に一服です。しかし、現在も43,200ドルと下値は非常に硬いです。

過去1週間でみると、個々のアルトコインも大きく上昇しているものが多いですが、TONはこういう状況では弱いです。

市場とは逆相関が見られる場合がよくありますが、未だ理由がよくわかりません。引き続き調べていきます。

米国の雇用指標で弱さが見られ、米国債はさらに上昇（金利低下）。米国株はこのところの上昇が大きく引き続き反落。

WTIがいよいよ70ドル割れで、インフレ低下の傾向が更に顕著になっています。来年の世界経済を見通す上でプラス材料です。

【今の暗号通貨市場は非常に強い】

米銀JPモルガン・チェースのジェイミー・ダイモンCEOは6日、もし自分に権限があれば暗号資産業界を閉鎖すると議会の公聴会で語っています。

通常であれば金融業界の重鎮がこのような発言をすれば、暗号通貨市場は相当なマイナス影響を受けますが、殆ど今回は影響がありません。

市場が高騰するときは、悪い話はスルーされて、良い情報が出ればそれを元を買われます。そういう意味でも今の市場は相当にHOTです。

ちなみにダイモンCEOが最も問題にしているのは、テロリストがマネロンの手段として暗号通貨を使うことにあります。

制裁が効かないということです。これこそが暗号通貨のひとつの大きな特徴でもありますね。

誰にも資金の流れを止めることができないことでありこれこそが非中央集権だということです。

【EC 売れ残った服の廃棄禁止へ これによって想像できること】

EUの主要機関は、売れ残った服や靴などの衣料品の廃棄を禁じる法案に大筋合意しました。

承認されてから2年後に施行され、中規模企業は6年間免除され、小企業には適用されません。

そして、廃棄禁止の対象が今後、衣料品以外に広がる可能性もあります。

衣料業界は大量のCO2を排出し、すべての産業の中で2番目に水を使い、そして85%の製品はゴミとなっています。

更には大量のマイクロプラスチックが海洋を汚染させています。

<https://www.businessinsider.jp/post-200862>

今回の法案は非常に画期的なもので、衣料品生産の無駄をなくすことは地球環境には非常にプラスに働きます。

多くの大手衣料品メーカーが表では綺麗事を言いながら、生産現場の裏を見ればこれが実態です。

これにより大量生産、大量消費型のファストファッションは大きな政策転換を図る必要性が出てきます。ユニクロも当然同様です。

作った製品が売れずに残った時に、それを未使用品特価業者に横流しをすれば、自社ブランドの価値を非損させる恐れもあります。

<https://kimble.co.jp/corporate/63/>

今は、この手の店が成長していますが、必ず勝ち組が出てきますので、その企業が上場すれば、上場で資金調達を行うことで事業展開力を大きくし、さらに大きく成長する可能性もあります。利益率も総じて高いので、企業が成長すれば時価総額も大きくなります。

反対に多くの衣料品メーカーでは淘汰されるところも出てきます。

上場する衣料品メーカーの多くの株価は低迷につながるかもしれません。そしてこの法案がうまく機能すれば、先進国ではこの動きは広がることになるでしょうね。

そして衣料品から他の製品群にも広がれば、無駄が大きく省けていくことになります。

自分自身、長くりサイクル業界で仕事をしていましたので、循環社会が加速することには応援したいと思います。

元々ファッションは好きで、年に一度はイタリアを訪れて、フィレンツェにあるザモールという巨大なアウトレットで買い物をするのが楽しみでした。

しかし、3年ほど前からほとんど服を買うことはなくなり、直近のタイに来てからの2年は一切衣料品は買っていません。タイは年中気候が温暖で変わらないため、Tシャツ、短パンで年中通せるということも大きいです。

過去に買った服で日本、タイにある家のタンスはいっぱいになっていますが、着ない服が場所を埋めているというのも非常に無駄なことですね。（維持コスト計算をすればかなりのものになります）

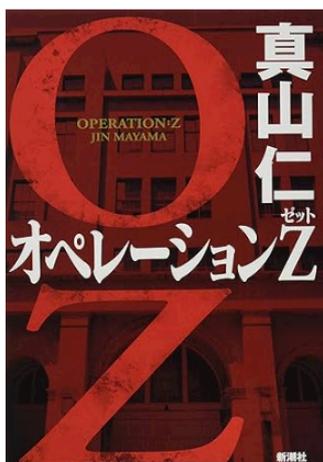
着ないということを理解することで、無駄はしない。買わないということにもつながりますが、歳をとるごとに消費行動は合理的になっていきます。

お金を使う機会が減れば、結果的にお金は残ります。

様々な面から考えて、お金がかからない場所に住むというのは一番合理的にお金を残す方法の一つであることは間違いないと思います。

【お勧め本 オペレーションZ 真山仁】

今読んでいるのは真山仁のオペレーションZです。



オペレーションZ 単行本 - 2017/10/20

真山仁 (著)

4.2 ★★★★★ ☆ 456個の評価

すべての形式と版を表示

Kindle版 (電子書籍)

¥940

獲得ポイント: 9pt

今すぐお読みいただけます: 無料アプリ

単行本

¥1,420

獲得ポイント: 28pt

28中古品から ¥1

15新品から ¥1,406

3コレクター商品から ¥3,950

文庫

¥1,045

獲得ポイント: 32pt

35中古品から ¥30

28新品から ¥1,045

4コレクター商品から ¥222

はじめての本の購入で10%ポイントプレゼント エントリーはこちら

破滅を回避する道はただ一つ、日本の国家予算を半減せよ! 明日にも起こりうる危機、国家破綻。日本国債が市場で吸収されなくなった時、ヘッジファンドが国債を売り浴びせた時、それは現実となる。総理の密命を帯びたチームOZは、歳出半減という不可能で不可欠なミッションに挑む。官僚の抵抗、世論の反発、メディアの攻撃、内部告発——。未曾有の超大型エンターテインメント。

画像にマウスを合わせると拡大されます



長さ

459

ページ

言語

JA

日本語

出版社

新潮社

発売日

2017年

10月 20日

寸法

14.0 x 3.0 x

19.7

cm

内容を知ってこの本を買ったわけではなく、真山仁の小説はほぼ読む中でこの本のことを知らず、前回の訪日時にブックオフオンラインで注文し、100円で買いました。（基本新刊以外は中古で十分だと思っています）

オペレーションZ

<https://www.amazon.co.jp/dp/4103233230>

本の内容としてはまだ全部を読んでいませんが、アベノミクス、日銀の金融緩和による悪影響、円安、インフレ。そしてその後について書かれています。

ちょうど正しく現在の日本の状況にありますので、非常に参考になる点が多いのではないかと思います。（本の中では株安ですが、この点は間違っていましたね）

今後日本で起こり得ることが予測できますし、投資で活用できる点も多いと思いますので、このコミュニティに参加されている皆さんには必読の一冊となります。

WOWOWでドラマ化もされているようなので、それを見れる人はそれを見るのも良いかと思いませんよ。

経済小説は基本的に出てからすぐ買った方が参考になる場合が多いです。

その時その時の経済の大きな話題について主題としている場合が多いです。

小説はリセールバリューも低いので、図書館の徹底活用が一番かもしれませんね。近くに利用できる施設があるのであれば。

【シンガポールの銀行口座開設 非居住者日本人向け最新情報】

香港は今の所、自分の持つ特別なルートでHSBCなどの銀行に非居住者の日本人でもビザなしで口座開設ができます。

いまだ海外に銀行口座を持っていない人は、必ずひとつは保有をしておくべきです。世界中ビザ無しでは作れない国がどんどん増えています。

HSBCのネットバンクを使えば日本につつ、世界中に送金も資金移動もできますし、世界中の様々なファンドやETFを買うこともできます。

中国化のリスクもありますので、そこからの分散を考えた場合、先進国という枠内で選択すべきで、そうするとシンガポールが一番の候補となります。

しかし調べて見ましたが、すでにこれも無理でした。大手銀行であるDBS, UOB, OCBC全社ともパスポート+就労VISA, 扶養ビザなどの提示も必要になっています。

シンガポールは居住コストが高く、さらに言えば生活コストも非常に高いですから、わざわざシンガポールを住む場所として選択するのは、すでにある程度の富裕層でなければ無理です。

シンガポールから隣接するマレーシアのジョホールバルについては生活コストも圧倒的に安くなりますので、こちらで銀行口座開設ができるかも確認して見たいと思います。

DBS

Upload supporting documents
Identification

- Malaysian IC, or
- Passport biodata page (for other nationalities)

Valid Pass

- Employment Pass, S-Pass, Student Pass; or
- In-Principle Approval from MOM or ICA

Proof of residential address

Proof of tax residency

UOB

Passport; and

Other form of more permanent identification e.g. identification cards or social security passes etc.

Proof of residential address (such as the latest telephone/utilities bill or latest bank statement; all documents to be in English).

A Letter of Reference from a Bank whereby the customer is currently having an existing banking relationship with the Bank itself; OR

A Letter from an Introducer (the introducer must be our existing UOB Singapore account holder)

OCBC

Open OCBC Passbook Savings Account today

For Singaporeans and Permanent Residents: NRIC and an image of your signature. For foreigners: Passport. Employment Pass (EP); or S-Pass or Student Pass.

Initial deposit: S\$1,000.

Include any one of the following documents: Phone bill. Half-yearly CPF statement. Any bank statement.

【ハンセン指数ショート正解】

夏の段階で香港株をショートすることはグループ内にシェアをしました。

そして、未だにポジションは保有していますが、20,000程度でショートしたものが、現在は16,338まで4ヶ月弱で20%近く順調に下がっています。

中国の不動産問題はまだまだ処理に時間がかかりますから、香港株はまだ下がると考えます。



■当時のショート判断の理由

中国不動産バブル崩壊は長期に渡り、そこから波及する問題は多くの産業に渡り、長期的な中国経済の不振に陥ることは明確だったこと。

そして習近平体制が経済音痴で、共産党首脳部、地方政府首脳部は独裁政権の習近平の顔色ばかりを伺い、まともな経済政策はすべて後手に回ると考えました。

更に言えば、香港の中国化が進んでいることを、今年の夏の2回の香港、マカオ訪問時に肌で感じたため、残念ながら香港は資本主義から大きな枠での共産党体制の中に入ることになり、株式市場の魅力が薄れていると感じ、中国経済下落、中国企業の業績の悪化から、香港株の長期的な下落を予想したからです。

香港、マカオの不動産価格も下落し、更には香港の賃貸不動産市場がかなり悪く、オフィスビルの空室率が非常に高く、新規で入っていない状況を見て、不振が長期化することも予想できたからです。

中国本土の株式市場から欧米の資金の流出が止まらないですが、香港からも同様に資金流出はしばらく止まらないと思います。

(ただし香港は中国よりも柔軟に打開策を打つことになるでしょうから、香港に銀行口座、証券口座を保有することは、当面はリスクは特にないと考えています)

香港・マカオの不動産価格は高値と比べればかなり下がってきていますが、未だ割安感を感じる水準ではありません。

反対に、香港・マカオに住む人たちからすれば、円安下での日本の不動産は安いですので、少し円高に流れが変わってきた今のタイミングで、堰を切ったように日本への資金流入は加速するかもしれません。

そうなれば、日本の都心部のマンションの需要は更に増すこととなります。

そして香港・マカオ・更には台湾・中国本土の人たちの日本の投資ビザ申請は継続的に増加すると思います。実は日本の投資家ビザはハードルが非常に低く、永住権のハードルも低いのです。

彼らが日本でビジネスを行い、日本の税収が増えるのであればウエルカムだと思います。

【AMD MI300発表】

AMDのリサ・スーCEOは昨日の発表会で、AI半導体業界の規模が今後4年間で4,000億ドル（約59兆円）を超える可能性があるとの予想も示しました。

これはAMDが8月に示した予測の2倍強に相当するもので、AIハードウェアに対する期待がいかに急速に変化しつつあるかを示しています。

MI300を採用する顧客にはマイクロソフトやオラクル、メタ・プラットフォームズが含まれるとAMDは説明しています。

MI300の性能、コスパがエヌビディアの先端半導体に対しての優位性の詳細はまだ不明ですが、市場シェアを確実に奪っていくようであればAMDは出遅れ感が強いので、先々の旨みはエヌビディアよりも大きくなる可能性もありますね。

今回の説明会では、Instinct MI300シリーズのスペックを明らかにし、生成AIの学習や推論でNVIDIA H100を上回る性能を発揮すると説明しています。実際のところの評価はこの後の受注状況ではっきりすると思います。

MI300の詳細はこちらの記事がわかりやすいです。

<https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/1552583.html>

昨日の米株式市場は下落し、マグニフィセントセブンはこのところの買われすぎもあり売られました。エヌビディアは2.3%、AMDは1.3%それぞれ下落して終了していますので、指値を入れてうまく低いところを拾っていききたいですね。

次回のAMDの決算では大量受注のサプライズが出て、そのタイミングで今年最初のエヌビディアの決算の時のような短期上昇の可能性もありますから。

ちなみに3月のエヌビディアの決算発表では、発表前の300ドル台の株価が、発表後には400ドルを一気に超えました。AMDにも期待したいところです。

【BTCの次の高値目標は？】

BTCが44,000ドルを回復しました。44,000ドルを割れてもすぐに買いが入り、買いの需要の強さと利確のなさがわかります。

そしてショート勢は今回の上昇でポジションを強制決済されましたので、この上げ相場の中で売りに向かう筋は小さいです。今の状況でのショートは怖すぎですね。

次の高値の目安を過去のチャートを振り返ってみると？



2022年4月1日に45,550ドルというのが一つのまずは目標目安であり、これを超えると50,000ドルまでスムーズに上昇するように思います。

チャートを読んで・・・ではなく、大雑把な感覚です。

今の市況はそのくらいでちょうど良いように思います。

更に50,000ドルを超えると過去最高値までの途中ハードルは低く、上がり出すと早いかもしれません。（といっても今回の上昇の目標値は個人的には10万ドルの節目を見えています。その手前で少し利確予定です。買った価格の3.5倍であれば満足です）

出来高もまだまだ全然膨れ上がっていませんし、過去の2回のバブルと違い、ハイプ系、インチキICOが目立ったものも少なく、市場に浮つき感をあまり感じませんので、良い傾向だと思います。

直近の値上がりの中で、Bloombergをはじめとした世界のネット経済ニュースの中でもBTCの上昇についての記事が増え出しています。

テレビニュースなどでも報道され、今まで触っていなかった人たちもBTCを話題にしたら、そのタイミングはひとつの売りのシグナルだと思います。

アルトコインの出遅れがあれば遊びで買おうと思いましたが、よくわからないので結論から言えばやめておくことにします。

AMDの保有株数がまだ少ないので、こちらの買いを優先することにします。

通貨	年間イールド	最小保有	Entry Coin	報酬コイン	出金期間	アクション
 Bitcoin Staking ⓘ	10%	1,000 entry coin	SGD,XSGD,USD,USDT,USDC	BTC & TKX	Minimum 30 days	ステーキング
 Ethereum Staking ⓘ	10%	1,000 entry coin	SGD,XSGD,USD,USDT,USDC	ETH & TKX	Minimum 30 days	ステーキング

また、シンガポールの取引所の[Tokenize](#)ですが、今であればBTCの1ヶ月ロックでのステーキングができます。

自分のステーキングは1年満期のものでしたが、毎月複利で利息がつく形で、即座解約もできたので、先ほど解約して30日に入れ直しました。

非常に便利なのは、解約、新規ステーキングとも即座にできることです。ここは便利で重宝しますね。